

◆◆アントレプレナーシップ発揮の場面(例)◆◆

【手中の鳥(Bird in Hand)】

- ・ 図書室で調べる点
- ・ 自分が暮らしている商店街を活動の場にした点
- ・ 地元の人気サッカーチーム(フロンティア)に着目する点
- ・ 商店街元気大作戦で、皆さんが様々な新商品を開発する点
- ・ 最初は自分の家であるパン屋から始めた点

【許容可能な損失(Affordable Loss)】

- ・ 「失敗してもまた考えればよい」と思って始めた点
- ・ 賑やかな商店街につなげるため、(亜美たちが企画した)半額セールや割引サービスを実施することで利益が一時的に減少する点

【レモネード(Lemonade)】

- ・ 宝来軒のおじいちゃん和本条選手との過去のいきさつは驚き(レモン)。しかしおじいちゃんに1度協力を断られても、本条選手の帰国を契機として、率先して取り組む協力者となってもらった点(レモネード)

【パートナーシップの形成(Crazy Quilt)】

- ・ 友人2人の協力を仰ぎ、行動した点
- ・ 商店街の皆さんに協力を取り付け、ともに行動した点
- ・ 地元の人気サッカーチーム(フロンティア)に協力を仰いだ点

【飛行機のパイロット(Pilot in the Plane)】

- ・ 顔を知っている商店街の皆さんが自分の商店でできることに取り組んだ点

付記：“ASK”(問いかけ)の重要性

みなさんの中には、自分は「手中の鳥」が少ないな、と思った人もいるかもしれません。でも、それは制約条件にはなりません。足りないものは、周囲の人への「ASK」で補えばよいのです！ASKでは、どのような形であれば、相手とともに未来を創ることができるかを、オープンに問いかけることが重要です。